



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 イーソル株式会社 上場取引所 東
コード番号 4420 URL <https://www.esol.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長CEO兼CTO （氏名）権藤 正樹
問合せ先責任者 （役職名）社長室長 （氏名）落合 藤夫 TEL 03-5365-1560
半期報告書提出予定日 2026年8月10日 配当支払開始予定日 2026年9月3日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	6,358	12.6	243	32.8	320	47.4	279	100.4
2025年12月期中間期	5,647	△6.4	183	△74.7	217	△71.4	139	△75.5

（注）包括利益 2026年12月期中間期 311百万円（198.3%） 2025年12月期中間期 104百万円（△74.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	14.20	—
2025年12月期中間期	7.35	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	8,353	6,149	73.6
2025年12月期	8,192	5,906	72.1

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 6,149百万円 2025年12月期 5,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	1.50	—	4.00	5.50
2026年12月期	—	1.50			
2026年12月期（予想）			—	4.00	5.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,731	21.4	1,093	34.1	1,199	38.9	824	37.8	41.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) T LEAD SCIENCES株式会社、除外 ー社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年12月期中間期	20,000,000株	2025年12月期	20,000,000株
--------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年12月期中間期	280,260株	2025年12月期	299,669株
--------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年12月期中間期	19,707,634株	2025年12月期中間期	18,999,953株
--------------	-------------	--------------	-------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況.....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況.....	2
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における、当社グループの組込みソフトウェア事業の主要取引市場である自動車市場では、自動車が単なる移動手段ではなく、社会インフラの一部に変わりつつある中で、次世代のSoftware-Defined Vehicle（ソフトウェア定義型の自動車）の開発が急務であり、同市場は大きな変革期にあります。また、自動車や医療分野を中心に、安全技術への需要が高まっており、機能安全規格の認証取得が求められる傾向にあります。

このような環境の中、当社グループは自動車市場をメインターゲットと位置づけ、「フルスタックエンジニアリング」（注）を提供し、機能安全規格の認証取得を進め、さらに、当社製品に対する研究開発への投資を引き続き行ってまいりました。また、センシングソリューション事業がメインターゲットの1つとしている食肉市場並びに倉庫・物流業界に対し、車載プリンタ並びにハンディターミナルの拡販を進めました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高6,358百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益243百万円（同32.8%増）、経常利益320百万円（同47.4%増）、法人税等の計上などにより、親会社株主に帰属する中間純利益279百万円（同100.4%増）となりました。

（注）ソフトウェアシステムの基盤層であるOSから、ミドルウェア、プラットフォーム、アプリケーション、そしてツールとプロセスまでの全ての階層を統合してエンジニアリングを行うこと

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（組込みソフトウェア事業）

当事業は、フルスタックエンジニアリングの提供として、幅広い分野における電子機器向けの自社製ソフトウェア製品リアルタイムOS（オペレーティング・システム）の開発・販売、エンジニアリングサービスを主にしております。この結果、売上高6,159百万円（前年同期比14.5%増）、セグメント利益278百万円（同43.2%増）となりました。

当セグメントの売上高の内訳としては、ソフトウェア製商品は1,242百万円（前年同期比73.7%増）、エンジニアリングサービス等は4,916百万円（同5.4%増）となりました。

（センシングソリューション事業）

当事業は、冷蔵・冷凍食品市場、食肉市場及び物流市場において、車載プリンタやハンディターミナルの販売、センサネットワーク関連ビジネスを進めましたが、ハードウェア製商品にかかるエンジニアリングサービス及びハンディターミナルの販売が前期比で減少し、その結果、売上高198百万円（前年同期比25.4%減）、セグメント損失34百万円（前年同期はセグメント損失11百万円）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は6,422百万円となり、前連結会計年度末に比べて106百万円増加いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産が232百万円減少した一方、現金及び預金が179百万円、その他の流動資産が126百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は1,930百万円となり、前連結会計年度末に比べて53百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が100百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、8,353百万円となり、前連結会計年度末に比べて160百万円増加いたしました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は1,939百万円となり、前連結会計年度末に比べて4百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が130百万円増加した一方、未払法人税等が139百万円減少したことによるものであります。固定負債は264百万円となり、前連結会計年度末に比べて78百万円減少いたしました。これは主にその他の固定負債が54百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、2,204百万円となり、前連結会計年度末に比べて82百万円減少いたしました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は6,149百万円となり、前連結会計年度末に比べて243百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が201百万円増加したことによるものであります。

（3）当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ179百万円増加し、当中間連結会計期間末には3,371百万円になりました。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は414百万円（前年同期に獲得した資金は138百万円）となりました。これは主に税金等調整前中間純利益318百万円、売上債権の減少額232百万円、仕入債務の増加額130百万円の資金増加要因が、法人税等の支払額208百万円の資金減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は141百万円（前年同期に使用した資金は9百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出127百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は94百万円（前年同期に使用した資金は75百万円）となりました。これは主に配当金の支払額78百万円によるものであります。

（4）業績予測などの将来予測情報に関する説明

2026年2月13日の「2025年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

（1）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,191,517	3,371,072
受取手形、売掛金及び契約資産	2,722,460	2,489,727
商品及び製品	149,207	142,988
仕掛品	61,745	101,314
その他	190,883	317,568
流動資産合計	6,315,814	6,422,670
固定資産		
有形固定資産	220,690	320,757
無形固定資産		
のれん	444,451	421,659
技術関連資産	123,629	117,289
その他	75,192	56,965
無形固定資産合計	643,272	595,913
投資その他の資産		
投資有価証券	698,198	758,984
繰延税金資産	4,319	4,056
その他	310,321	251,057
投資その他の資産合計	1,012,839	1,014,098
固定資産合計	1,876,802	1,930,769
資産合計	8,192,617	8,353,440
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	572,951	702,967
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
未払法人税等	235,638	95,797
賞与引当金	70,125	74,902
受注損失引当金	2,028	—
資産除去債務	16,980	—
その他	1,015,868	1,035,682
流動負債合計	1,943,593	1,939,350
固定負債		
長期借入金	67,500	52,500
繰延税金負債	51,688	30,209
資産除去債務	125,702	138,588
その他	98,129	43,460
固定負債合計	343,019	264,758
負債合計	2,286,613	2,204,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,041,818	1,041,818
資本剰余金	993,036	993,634
利益剰余金	3,841,854	4,042,870
自己株式	△152,597	△142,722
株主資本合計	5,724,111	5,935,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,259	194,656
為替換算調整勘定	18,633	19,074
その他の包括利益累計額合計	181,893	213,731
純資産合計	5,906,004	6,149,332
負債純資産合計	8,192,617	8,353,440

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
売上高	5,647,466	6,358,016
売上原価	4,023,481	4,436,090
売上総利益	1,623,985	1,921,925
販売費及び一般管理費	1,440,678	1,678,570
営業利益	183,307	243,355
営業外収益		
受取利息	1,050	3,397
受取配当金	3,813	6,438
助成金収入	4,380	33,736
設備賃貸料	6,041	6,949
保険解約返戻金	18,568	25,789
その他	3,655	5,572
営業外収益合計	37,509	81,883
営業外費用		
支払利息	—	577
為替差損	3,625	2,334
持分法による投資損失	—	2,203
その他	0	10
営業外費用合計	3,625	5,126
経常利益	217,190	320,111
特別損失		
固定資産除却損	1,497	1,426
投資有価証券評価損	699	—
特別損失合計	2,197	1,426
税金等調整前中間純利益	214,992	318,684
法人税、住民税及び事業税	67,045	74,533
法人税等調整額	8,331	△35,666
法人税等合計	75,377	38,867
中間純利益	139,615	279,817
親会社株主に帰属する中間純利益	139,615	279,817

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）
中間純利益	139,615	279,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,067	31,397
為替換算調整勘定	1,930	441
その他の包括利益合計	△35,137	31,838
中間包括利益	104,478	311,655
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	104,478	311,655

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	214,992	318,684
減価償却費	38,781	62,620
のれん償却額	—	22,792
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,387	4,776
受注損失引当金の増減額(△は減少)	20,164	△2,028
受取利息及び受取配当金	△4,863	△9,835
保険解約返戻金	△18,568	△25,789
支払利息	—	577
為替差損益(△は益)	1,048	△689
持分法による投資損益(△は益)	—	2,203
固定資産除却損	1,497	1,426
投資有価証券評価損益(△は益)	699	—
助成金収入	△4,380	△33,736
売上債権の増減額(△は増加)	298,418	232,733
棚卸資産の増減額(△は増加)	△139,227	△33,349
仕入債務の増減額(△は減少)	45,736	130,016
その他の資産の増減額(△は増加)	△69,687	△120,716
その他の負債の増減額(△は減少)	△165,235	△29,313
その他	1,085	2,191
小計	222,850	522,563
利息及び配当金の受取額	4,857	9,826
利息の支払額	—	△564
保険解約返戻金の受取額	39,900	57,031
助成金の受取額	4,380	33,736
法人税等の支払額	△133,548	△208,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	138,439	414,011
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12	—
有形固定資産の取得による支出	△9,091	△127,682
無形固定資産の取得による支出	△1,566	△1,191
資産除去債務の履行による支出	—	△17,963
投資有価証券の取得による支出	—	△2,320
関係会社株式の取得による支出	—	△15,000
敷金及び保証金の差入による支出	△899	△115
敷金及び保証金の回収による収入	1,481	30,415
預り保証金の返還による支出	—	△9,976
その他	364	2,255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,724	△141,577
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△15,000
自己株式の取得による支出	—	△23
配当金の支払額	△75,664	△78,986
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,664	△94,009
現金及び現金同等物に係る換算差額	40	1,130
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	53,090	179,554
現金及び現金同等物の期首残高	3,174,697	3,191,517
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,227,788	3,371,072

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I. 前中間連結会計期間（自 2025年1月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	組込み ソフトウェア事業	センシング ソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	5,380,797	266,669	5,647,466
ソフトウェア製商品	715,613	—	715,613
ハードウェア製商品	—	266,669	266,669
エンジニアリングサービス	4,665,183	—	4,665,183
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,380,797	266,669	5,647,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	5,380,797	266,669	5,647,466
セグメント利益又は損失（△）	194,316	△11,009	183,307

2. 報告セグメント合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II. 当中間連結会計期間（自 2026年1月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	組込み ソフトウェア事業	センシング ソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	6,159,057	198,958	6,358,016
ソフトウェア製商品	1,242,887	—	1,242,887
ハードウェア製商品	—	198,958	198,958
エンジニアリングサービス	4,916,169	—	4,916,169
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	6,159,057	198,958	6,358,016
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,159,057	198,958	6,358,016
セグメント利益又は損失（△）	278,183	△34,828	243,355

2. 報告セグメント合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。